

学校教育計画

4年間の目標と主な方策（令和6年度～令和9年度）

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 世界市民として自立し、探究心、知識、思いやりに富み、豊かな世界観を身に付けたグローバルリーダーの育成に向けて、質の高い英語教育、多様な言語や文化の学び、及び探究的な学びを重視した国際教育の取組を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際科及び国際バカロレアコースの特色ある教育課程を生かし、2つの教育課程間を含む教科横断的なカリキュラムマネジメントを推進する。 I C Tの利活用を図りながら、みずから課題を発見し課題解決を図る学習を推進する。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 多様で柔軟な生徒支援体制及び相談体制を推進し、規範意識を身に付けさせるとともに、生徒の自己理解と相互理解を深めるきみ細かな指導・支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の状況について正確に把握するとともに適切な指導・支援を行う。 学校生活を通じて生徒に自主自立の精神が身に付くように指導する。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 海外を視野に入れた生徒の進路希望の実現に向け、学習意欲を高め、幅広い学力の習得と定着を図り、組織的計画的な進路指導を行う。 生きる力の育成を目指し、自主的に将来の進路や職業について深く学び、人生設計ができる資質能力を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の授業に積極的に取り組む姿勢を身に付けさせ、自らの学力の把握と目標設定を行わせるよう指導する。 教科・科目の授業においてキャリア教育の視点を持ち、問いの立て方の工夫・改善を行う。 教育活動において積極的にI C Tの利活用を推進する。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題や社会奉仕について取り組み、生徒が主体的に関わりながら、地域に開かれた学校づくりを行うとともに、地域社会や国際社会に貢献できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題や地域への社会奉仕に取り組むために、学校運営協議会の機能を活用し、積極的に地域の人々との交流を行い、地域との連携を強化する。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ワーク・ライフ・バランスに配慮した教員の働き方改革を推進する。 生徒の安全のために教育環境を整備し、併せてコンプライアンスの徹底、事故・不祥事防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 月に1回は会議のない「プレミアムディ」を設定する。 事故防止の観点に立った教育環境づくりをめざす。 教育公務員として事故不祥事防止を図る。 全教員でペーパーレス化に取り組む。